

U-CANの気象予報士これだけ！ 一問一答&要点まとめ 第3版 訂正のお知らせとお詫び

この度は、弊社書籍をお買い求めいただきまして、誠にありがとうございます。

本書の記述内容に以下のような訂正事項がございました。お詫びして訂正申し上げます。

なお、発行年月日により対象となる訂正箇所が異なる場合がございますので、お手元の書籍の奥付で発行年月日をご確認のうえ、訂正していただきますようお願いいたします。

■「第3版 第1刷（2017年2月24日）」をお持ちの方

該当頁	該当箇所	訂正前	訂正後	訂正日
p.296	学科・専門 第7章 Point47 気象情報 予報区の種類 2行目	～九州南部・沖縄の計11種類である。	～九州南部と奄美・沖縄の計11種類である。	2023.8.4
p.193	学科・専門 第1章 A381 解説 4行目	～下層・中層の風を～	～中層・上層の風を～	2023.7.28
p.121	学科・一般 第6章 Point19 台風 9行目	～（危険半径という）～	～（危険半円という）～	2023.6.30
p.34	学科・一般 第2章 大気の熱力学 Q052 設問	※設問を下記に差替え 「乾燥空気塊が上昇していく場合において、 <u>周囲の空気の温位が高度とともに減少する場合、大気は安定している。</u> 」		2023.3.17
p.63	学科・一般 第3章 Point10 雲の種類 10種類の雲分類 下の表 乱層雲（Ns）の分類	※乱層雲（Ns）の分類を下層から中層に移動		2022.11.11
p.188	学科・専門 第1章 観測成果の利用 Q371 設問 2行目	～地表面に対して <u>東</u> に～	～地表面に対して <u>西</u> に～	2021.7.30
p.337	実技試験 第2問 A11 解説 5行目	～ <u>図2</u> で九州の～	～ <u>図4</u> で九州の～	2019.6.7
p.91	学科・一般 第5章 大気の力学 A149 解説	$\zeta = \frac{v_2 - v_1}{x_2 - x_1} - \frac{u_2 - u_1}{y_2 - y_1}$ $= \frac{\Delta v}{\Delta x} - \frac{\Delta u}{\Delta y}$	$\zeta = \frac{v_2 - v_1}{x_2 - x_1} - \frac{u_2 - u_1}{y_2 - y_1}$ $= \frac{\Delta v}{\Delta x} - \frac{\Delta u}{\Delta y} \dots \textcircled{A}$	2017.4.14

■「第3版 第2刷（2019年1月10日）」をお持ちの方

該当頁	該当箇所	訂正前	訂正後	訂正日
p.296	学科・専門 第7章 Point47 気象情報 予報区の種類 2行目	～九州南部・沖縄の計11種類である。	～九州南部と奄美・沖縄の計11種類である。	2023.8.4
p.193	学科・専門 第1章 A381 解説 4行目	～下層・中層の風を～	～中層・上層の風を～	2023.7.28
p.121	学科・一般 第6章 Point19 台風 9行目	～（危険半 <u>径</u> という）～	～（危険半 <u>円</u> という）～	2023.6.30
p.34	学科・一般 第2章 大気の大気熱力学 Q052 設問	※設問を下記に差替え 「乾燥空気塊が上昇して <u>いく</u> 場合において、 <u>周囲の空気の温位が高度とともに減少する場合</u> 、大気は安定している。」		2023.3.17
p.63	学科・一般 第3章 Point10 雲の種類 10種類の雲分類 下の表 乱層雲（Ns）の分類	※乱層雲（Ns）の分類を下層から中層に移動		2022.11.11
p.188	学科・専門 第1章 観測成果の利用 Q371 設問 2行目	～地表面に対して <u>東</u> に～	～地表面に対して <u>西</u> に～	2021.7.30
p.337	実技試験 第2問 A11 解説 5行目	～ <u>図2</u> で九州の～	～ <u>図4</u> で九州の～	2019.6.7

■「第3版 第3刷（2020年8月28日）」をお持ちの方

該当頁	該当箇所	訂正前	訂正後	訂正日
p.296	学科・専門 第7章 Point47 気象情報 予報区の種類 2行目	～九州南部・沖縄の計11種類である。	～九州南部と奄美・沖縄の計11種類である。	2023.8.4
p.193	学科・専門 第1章 A381 解説 4行目	～下層・中層の風を～	～中層・上層の風を～	2023.7.28
p.121	学科・一般 第6章 Point19 台風 9行目	～（危険半 <u>径</u> という）～	～（危険半 <u>円</u> という）～	2023.6.30

p.34	学科・一般 第2章 大気の熱力学 Q052 設問	※設問を下記に差替え 「乾燥空気塊が上昇していく <u>場合において、周囲の空気の温位が高度とともに減少する場合、大気は安定している。</u> 」		2023.3.17
p.63	学科・一般 第3章 Point10 雲の種類 10種類の雲分類 下の表 乱層雲 (Ns) の分類	※乱層雲 (Ns) の分類を下層から中層に移動		2022.11.11
p.188	学科・専門 第1章 観測成果の利用 Q371 設問 2行目	～地表面に対して <u>東</u> に～	～地表面に対して <u>西</u> に～	2021.7.30

■「第3版 第4刷 (2021年8月6日)」をお持ちの方

■「第3版 第5刷 (2022年4月11日)」をお持ちの方

該当頁	該当箇所	訂正前	訂正後	訂正日
p.296	学科・専門 第7章 Point47 気象情報 予報区の種類 2行目	～九州南部・沖縄の計11種類である。	～九州南部と奄美・沖縄の計11種類である。	2023.8.4
p.193	学科・専門 第1章 A381 解説 4行目	～下層・中層の風を～	～中層・上層の風を～	2023.7.28
p.121	学科・一般 第6章 Point19 台風 9行目	～(危険 <u>半</u> 径という)～	～(危険 <u>半</u> 円という)～	2023.6.30
p.34	学科・一般 第2章 大気の熱力学 Q052 設問	※設問を下記に差替え 「乾燥空気塊が上昇していく <u>場合において、周囲の空気の温位が高度とともに減少する場合、大気は安定している。</u> 」		2023.3.17
p.63	学科・一般 第3章 Point10 雲の種類 10種類の雲分類 下の表 乱層雲 (Ns) の分類	※乱層雲 (Ns) の分類を下層から中層に移動		2022.11.11

■「第3版 第6刷（2023年7月1日）」をお持ちの方

該当頁	該当箇所	訂正前	訂正後	訂正日
p.296	学科・専門 第7章 Point47 気象情報 予報区の種類 2行目	～九州南部・沖縄の計11種類である。	～九州南部と奄美・沖縄の計11種類である。	2023.8.4
p.193	学科・専門 第1章 A381 解説 4行目	～下層・中層の風を～	～中層・上層の風を～	2023.7.28
p.121	学科・一般 第6章 Point19 台風 9行目	～（危険半 <u>径</u> という）～	～（危険半 <u>円</u> という）～	2023.6.30